

業 務 計 画 書

I 委託業務の内容

1. 業務題目

令和6年度「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究」

ア) 薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）の英訳版の作成と公開

イ) 「臨床における実務実習に関するガイドライン」についての調査研究

実務実習の問題点の把握、質向上に向けた取組み

ウ) 「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」（令和4年8月薬学系人材養成に関する検討会）を踏まえた調査研究

① 4年制課程における薬学部教育の現状把握と今後の課題に関する調査研究

② 薬学系大学院の現状把握と今後の課題に関する調査研究

③ その他薬学教育の質保証に関する調査研究

2. 業務の目的

ア) 薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）の英訳版の作成と公開

薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）（以下「令和4年度改訂コアカリ」という。）の英訳版を作成し、広く国際社会に向けて公開することで、海外の薬学教育との比較や議論を促進し、薬学教育のグローバル化を推進するとともに、我が国の薬学教育の充実のための検討にフィードバックされることを企図する。

イ) 「臨床における実務実習に関するガイドライン」についての調査研究

実務実習の質向上に向けてアンケート等の調査を行い、実務実習の問題点を抽出する。それに基づいて必要があれば「臨床における実務実習に関するガイドライン～薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応～」（以下「改訂版ガイドライン」という）の改訂等の検討を行い、今後の実務実習の円滑な実施と更なる質の向上を図る。

ウ) 「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」（令和4年8月薬学系人材養成に関する検討会）を踏まえた調査研究

以下の調査研究を行い、薬学部及び薬学系大学院における教育・研究の更なる質の向上を図る。

① 4年制課程における薬学部教育の現状把握と今後の課題に関する調査研究

4年制課程における薬学部の特色を活かした人材育成について検討を行う。

② 薬学系大学院の現状把握と今後の課題に関する調査研究

4年制博士課程の教育研究の内容、入学者の属性、学位の授与状況、修了者の進路、学位についての社会の認知度などに関する分析と課題の検討等を行う。

③ その他薬学教育の質保証に関する調査研究

令和5年度文部科学省調査研究「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究」において開発・作成した e-learning 教材を維持・管理し全国薬学系大学へ配信する。また、令和4年

度改訂コアカリに基づく薬学教育の質保証に関する調査研究、その他薬学教育の質保証に関する調査研究を行う。

3. 業務の期間

契約締結日～令和7年3月31日

4. 当該年度における業務実施計画

ア) 薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）の英訳版の作成と公開

令和5年度に「薬学教育調査・研究・評価委員会」のもとに設立された「英訳版作成ワーキンググループ」において完成を目指す（「5.実施体制」図1参照）。英訳版は、令和4年度改訂コアカリが公表されている文部科学省のHPなどに掲載して、広く国際社会にむけて公開する。

イ) 「臨床における実務実習に関するガイドライン」についての調査研究

令和4年度に設立された「実務実習ガイドライン改訂ワーキンググループ」（「5.実施体制」図2参照）において、実習施設と学生に対するアンケート等の調査を行い、現在の薬学実務実習に関する問題点等を抽出する。問題点に対する解決策等を議論し、現行のガイドラインの改訂案や、必要に応じて改訂版ガイドラインの改訂案等を、「病院・薬局実務実習推進委員会」と連携を図り纏める。

ウ) 「6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ」（令和4年8月薬学系人材養成に関する検討会）を踏まえた調査研究

① 4年制課程における薬学部教育の現状把握と今後の課題に関する調査研究

薬学教育協議会には「薬科学教科担当教員会議」が設置され、4年制課程についての議論の場が設けられているので、その場で4年制課程における薬学部教育の現状把握と今後の課題について議論を行う。

② 薬学系大学院の現状把握と今後の課題に関する調査研究

4年制博士課程の教育研究の内容、入学者の属性、学位の授与状況、修了者の進路、学位についての社会の認知度などに関するアンケート調査を大学や医療機関に対して実施し、課題の検討等を「薬学教育調査・研究・評価委員会」を中心に行う（「5.実施体制」図3参照）。

③ その他薬学教育の質保証に関する調査研究

令和5年度文部科学省調査研究「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究」において開発・作成したe-learning教材をクラウド上で維持・管理し、広く全国薬学系大学での講義などで利用されるよう環境整備を行う。令和4年度改訂コアカリに基づく薬学教育の質保証に関する調査研究、その他薬学教育の質保証に関する調査研究を、「薬学教育カリキュラム評価検討委員会」、「教科担当教員会議」において行う（「5.実施体制」図3参照）。